

**特定健康診査事業****【特定健康診査】****健診受診率 H30 52.6% R1 54.1%(暫定値) (R5 目標60%)**

・令和元年度は申込していない人への勧奨を往復はがきを使って行い同時に申込を受け付けできたこと、集団健診の欠席者に電話等で連絡し、その場で日時の変更を受け付けたことで、受診率が向上した。

・新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、5月は個別健診中止とした。また、集団健診は70歳未満のみとし、70歳以上は個別健診に変更し、一回あたりの受診者数を減らしている。

**【特定保健指導】****保健指導実施率 H30 29.9% R1 26.1%(暫定値) (R5 目標40%)**

・令和元年度は、短時間勤務の保健師、管理栄養士のみで実施したため、勤務時間中に連絡のつく対象者が少なく実施率の低下につながった。

**個々の生活リズムに合わせて、市役所に来なくても保健指導を受けられる体制を作る。****特定保健指導委託**

- ・健診会場で、当日中に保健指導の初回面接を実施
- ・スマホやパソコンのテレビ電話を利用した遠隔面談

**重症化予防事業****【服薬通知】****包括協定に基づきスギ薬局と共同実施****・かかりつけ薬局の推進**

複数の薬局から薬をもらっている人に通知を送り、薬局で相談するよう促す。

**・多剤・重複服薬対策**

複数の医療機関から6剤以上の処方を受けている人や同一成分の薬が重複して処方されている人などのうち、スギ薬局の利用者に対し通知を行い、スギ薬局薬剤師による服薬相談を行う。(通知基準は今後、分析結果を見て、スギ薬局と相談)

**・セルフメディケーション支援**

処方箋がなくても、薬局等で購入することができる薬を服用している人に通知を送り、セルフメディケーションのメリットを伝える。

**【受診勧奨通知】**

・健診結果から受診が必要な人のうち通院治療がない人や治療・服薬中断者を抽出し、受診勧奨通知を行う。

**【糖尿病重症化予防事業】**

人工透析に至る可能性の高い者を抽出し、愛知医科大学病院糖尿病専門医やかかりつけ医と連携し、アプリやテレビ電話などを活用した個別指導(生活・食事・服薬・運動)を行う。

**愛知医科大学糖尿病専門医、長久手市医師会へ  
事業の説明及び協力依頼済み**

- ・長久手市医師会の内科医からは、事業へ参加したいという声もいただいている。
- ・令和3年度の保健指導開始を目標に、専門医やかかりつけ医と相談の上、対象者の抽出やプログラムの検討を進めている。